

式台門

式台門の落成式で門をくぐる藤田住職―砺波市神島



神島の中心にある真宗大谷派・藤田山圓光寺には、門主や連枝を迎えるときに使われる式台門が威容を誇る。「普通のお寺にはちょっとない門ですちゃ」。祖の藤田貞信主従が開

説明してくれた第25世住職の藤田誓壽さん(80)は、南砺市井波の瑞泉寺輪番として知られている。神島は、圓光寺の先

祖先の寺に住民建設

いた。上杉謙信の越中攻めに従った藤田主従は戦後、越後に帰らず、中村郷の「上」に位置する「上島(神島)」に住んだ。子孫の藤田貞明が石山合戦に参戦し、終戦で剃髪して圓光寺を開いたとされている。

式台門は、昨年7月

心の拠り所に「宝増えた」

に上棟式、同11月に落成式が行われた。藤田住職と同級生の建築業上保金二さん(神島)が棟梁を務め、ケヤキ造りの間口2・4、高さ2・4の前流れ屋根の風格漂う門である。落成式は同寺の報恩講にあわせて営まれ、藤田住職、上保金二さん、同寺総代の加

賀見義公さん、柴田豊明さん、吉田一衛さんらがくぐり初めを行った。同寺の本堂は江戸初期の建造物で、梵鐘は同市文化財に指定されている。藤田住職は「檀家さんのおかげでお寺の宝がまた一つ増えた」と喜ぶ。神島の住

民が心の拠り所とする
(次回は富山市三成中学校区)



上棟式で期待を寄せる藤田住職と棟梁の上保さん―砺波市神島

同寺では2011年の親鸞聖人750回御遠

わがまち
まがま
まがま
まがま